

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 5 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	現在、身体拘束に該当する入居者はいないが、玄関の施錠(オートロック)は行っている。玄関を出てすぐに、交通量の多い道路がある。職員が、入居者の見守りを行うフロア(食堂)から玄関までの距離が遠く、死角もあり、事故防止の観点から、施錠を行っている。しかしこれは、利用者の行動の抑制に該当しているのではないかな。	現在、入居者の外出希望時は、職員の付き添いのもと、玄関を開錠しているが、それ以外でも、玄関を開錠する時間を設ける。	見守りを行う職員を多く確保できる、入居者の昼食の時間や、3時のおやつの時間に、玄関を開錠する時間を設ける。	3ヶ月
2	2	コロナ禍で地域の行事に参加できていない。地域との交流、繋がりが疎かになっている。	地域行事への参加は難しくても、連絡をとったりと、常にアンテナを張り、情報を得る。	現状、面会制限もあり、法人全体で、人を入れない対応を行っている為、、地域行事への参加は難しいところではあるが、当施設の近隣には小学校、幼稚園があるので、こちらから連絡をとり、まずは屋外での行事、交流ができるように、計画を立てる。	12ヶ月
3	35	火災訓練、水害訓練を行っているが、地域の消防団などの参加が難しい状態。案内は出している。	地域への案内は継続して行っていき、参加できるよう、消防団などと連携を図る。	地区の消防団などとの関係を構築する。その為にも、災害時、入居者の情報をスムーズに提供できるよう準備を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。